

表彰実績内容

1 教職員の部

①職務精励により表彰を受ける者(1名と1グループ)

学校名	氏名	実績の概要
堀江中学校	吉田 勝行	同人が勤務する堀江中学校は本市有数の大規模校であることに加えて、校舎移転により管理規模も格段に大きくなった。さらに移転場所については、周辺に桜の名所である土佐公園や土佐稲荷神社があることや、繁華街に近いことから、周辺の美化環境について地域住民から難色を示されてきた場所であった。そのような中で、「子どもにとって安心・安全な学校づくり」を日々心掛け、学校内外の環境整備を徹底的に行うことで、生徒が教育活動に打ち込める環境を作り上げると共に、地域住民からも高い評価を受けている。 教育活動の充実に貢献していることに加え、補修業務においては廃材を使用するなど、業務遂行にあたって質の高い成果をあげることを絶えず意識して取り組んでおり、その姿勢は他の範となるものである。
淀川小学校	本田 一二巳	学校の環境美化・施設補修・設備維持などの業務遂行において、共に働く管理作業員と積極的にコミュニケーションを取りながら一つ一つの業務に工夫を凝らして作業を行っている。特に正面玄関の樹木については、日本庭園を思わせる洗練された形に整えられており、同校を訪れる人々から称賛の声があがるほどである。また、正門付近に四季折々の花々を植えることで、児童の自然に対する意識や感受性を育てる一助となっている。 人々の心を豊かにする環境づくりに努め、教育の発展向上に寄与するなど、その姿勢は他の範となるものである。
	渡辺 嘉也	

②職務上特に有益な調査研究等より表彰を受ける者(1名)

学校名	氏名	実績の概要
友渕中学校	和家 祥一	大阪市立教育研究会数学科研究委員として、長年にわたり数学科の活動研究を行っており、研究内容は指導方法や実践事例、記述表現についてなど多岐にわたる。これらの継続的研究の研究成果が評価され、公益財団法人日本数学教育学会が開催する全国大会優秀研究賞を受賞した。 これまでの研究は、同校のみならず大阪市中学校教育研究会の活動にも積極的に貢献しており、また、教員の教育活動の充実、数学科の指導改善・スキル向上に寄与した。

表彰実績内容

2 児童生徒の部

他に賞賛され、又は他の模範とするに足る行為により表彰をうける者(26名と5グループ)

中学校(11名と4グループ) ※ 学年は当時

学校名	氏名 (学年)	実績の概要
下福島中学校	森 さくら (3年)	第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」において、卓球少年の部3人リーグ戦に出場し、第1位となった。
野田中学校	吉田 修 (3年)	第15回全国中学選抜U15レスリング選手権大会において、男子85kg級に出場し、第1位となった。
佃中学校	中田 絆結宝 (3年)	第78回国民スポーツ大会において、国際第一套路長拳(少年女子)に出場し、第1位となった。
瑞光中学校	久住 理心 (3年)	JOCジュニアオリンピックカップ 第37回全国都道府県対抗中学バレーボール大会において、大阪北選抜チームの一員として女子の部に出場し、優勝した。
井高野中学校	山下 凌矢 (3年)	JVA第27回全国ヤングクラブバレーボール大会において、クラブチームの一員としてMARINの部(男子)に出場し、優勝するとともに、男子最優秀選手賞を受賞した。
新東淀中学校	水谷 一惺 (3年)	全国道場少年剣道選手権大会において、個人戦中学生男子の部に出場し、優勝した。
桃谷中学校	藤寄 奏心 (3年)	JOCジュニアオリンピック 第17回全日本ジュニアテコンドー選手権大会において、中学生女子+55kg級に出場し、第1位となった。
茨田中学校	吉田 朱里 (1年)	第10回全日本トランポリンジュニア選手権大会において、個人競技中学生女子の部に出場し、第1位となった。
住之江中学校	横山 芽彩 (2年)	第47回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会において、チームの一員として女子4×100mメドレーリレー(13～14歳)に出場し、第1位となった。
瓜破中学校	大谷 勇翔 (3年)	JOCジュニアオリンピックカップ 第55回U16陸上競技大会において、男子円盤投に出場し、第1位となった。
今宮中学校	村田 こはる (3年)	第29回オープントーナメントグランドチャンピオン決定戦 全日本少年少女空手道選手権大会において、中学3年生女子の部に出場し、優勝した。

学校名	氏名 (学年)	実績の概要
堀江中学校	吹奏楽部	第37回全日本マーチングコンテストにおいて、中学生の部に関西支部代表として出場し、金賞を受賞した。
蒲生中学校	吹奏楽部	第37回全日本マーチングコンテストにおいて、中学生の部に関西支部代表として出場し、金賞を受賞した。
鯉江中学校	吹奏楽部	第72回全日本吹奏楽コンクールにおいて、中学生の部に関西支部代表として出場し、金賞を受賞した。
豊崎中学校	家庭科部	第44回ホームソーイング 小・中・高校生作品コンクール中学生の部小物・インテリア作品部門において、最優秀賞である経済産業大臣賞を受賞した。

小学校(15名と1グループ)

※ 学年は当時

学校名	氏名 (学年)	実績の概要
堀川小学校	有馬 公志 (4年)	第6回W・K・Oジャパンアスリートカップ(空手)決勝大会において、小4男子+30kgの部に出場し、優勝した。
堀江小学校	荒砂 士道 (4年)	2024ジュニアゴルフ選手権CHAMPION OF CHAMPIONS WORLD CHAMPIONSHIPSにおいて、9才以下男子の部に出場し、優勝した。
南市岡小学校	田中 天翔 (6年)	第19回全国ブロック選抜U-12体操競技選手権大会において、個人総合(男子)で優勝した。
栄小学校	黄 碧純 (5年)	第24回全日本少年少女空手道選手権大会において、小学5年生女子形の部に出場し、優勝した。
	黄 龍輝 (3年)	第24回全日本少年少女空手道選手権大会において、小学3年生男子形の部に出場し、優勝した。
浪速小学校	石原 莉々奈 (5年)	2024全日本ジュニア体操競技選手権大会において、個人総合(女子Bクラス)で第1位となった。
	藤後 璃唯紗 (5年)	2024全日本ジュニア体操競技選手権大会において、個人総合(女子Aクラス)で第1位となった。

学校名	氏名 (学年)	実績の概要
三津屋小学校	大野 夢歌 (6年)	第44回全日本バレーボール小学生大会全国大会において、チームの一員として混合の部に出場し、優勝した。
小路小学校	佐藤 蒼汰 (4年)	JOCジュニアオリンピックカップ第17回全日本ジュニアテコンドー選手権大会において、小学3・4年生男子＋33kg級に出場し、第1位となった。
太子橋小学校	小森 咲良 (2年)	JOCジュニアオリンピックカップ第17回全日本ジュニアテコンドー選手権大会において、小学1・2年生女子＋24kg級に出場し、第1位となった。
すみれ小学校	中村 真翔 (5年)	2024全日本ジュニア体操競技選手権大会において、あん馬(男子Bクラス)に出場し、第1位となった。
茨田西小学校	奥村 亜瑠真 (3年)	第18回JKJO全日本ジュニア空手道選手権大会において、小学3年女子に出場し、優勝した。
茨田小学校	秋月 悠成 (5年)	JOCジュニアオリンピックカップ第17回全日本ジュニアテコンドー選手権大会において、小学5年生男子－33kg級に出場し、第1位となった。
玉出小学校	三好 勇杜 (6年)	第41回全国少年少女レスリング選手権大会において、男子の部6年生46kg級に出場し、優勝した。
日吉小学校	大阪市立日吉 小学校合唱団	第77回全日本合唱コンクール全国大会において、小学生部門に関西支部代表として出場し、金賞を受賞した。
中之島小学校	清田 錬玄 (6年)	令和6年9月4日下校途中、土佐堀川に転落した女性をとっさの判断で柵を乗り越え川岸から手を伸ばし引き上げた。その後、近くの大人に119番を頼み、パトロール中の警察官に引き渡した。また、その行いにより大阪府天満警察署から感謝状が贈呈された。